MAINICHI
毎日新聞
6月6日(火)
2017年(平成29年)
発行所：北九州市小倉北区紺屋町13-1
〒802-8651 電話(093)541-3131
毎日新聞西部本社
福岡市中央区天神1 毎日福岡会館〒810-8551
電話(092)781- 編集3100 事業3636 販売3221 広告3300
毎日新聞福岡本部

返礼品見直し 困惑

ふるさと納税 競争に待った！

「ふるさと納税」の返礼品競争が過熱しているとして総務省が高額品などを見直すよう4月に通知し自治体が対応に追われている。総務省は寄付額に対する返礼品の額の割合（返礼割合）を3割以下に抑えるよう求めているが、3割以下でも高額などとして是正を求められる場合もあり困惑が広がっている。

【重春次男、遠山和宏、高芝菜穂子】

鹿児島県曽於市は、九州経済産業局長賞も受けた地元メーカー開発の軽自動車キャンピングカーを返礼品としていたが、総務省通知を受けて来年度から廃止する。1台250万円相当で昨年度から500万円以上の寄付者を対象に始めたが、総務省通知で「高額で資産性も高い」と指摘を受けた。

しかし、通知前から5台を用意しており4月に予定通り募集。5月までに全て申し込みがあった。「好評だっただけに残念」と市の担当者は肩を落とす。

製造するバンショップミカミの見上喜美雄社長(68)も「返礼品として話題になることで地場産業の振興につながるのに」と訴える。

長崎県佐世保市は、通知で宝飾品の返礼品が問題とされたため4月から特産品の真珠のネックレスをやめた。

自治体「地場産業振興になるのに」

自分史製作など50万円以上の返礼品も見直しを検討する。一方、同様に真珠のアクセサリーを返礼品としている長崎市の担当者は「真珠の継続を明言している自治体もある」として様子見の状態だ。

2015年度寄付額約42億円で日本一だった宮崎県都城市の池田宜永市長は「返礼品で都城をアピールする方針は変えない」として、人気の宮崎牛や芋焼酎の返礼品を継続する。ただし、5、6割だった返礼割合を3割以下に変更。1万円の寄付に対する都城産宮崎牛700グラム（6000円相当）は400グラム（3000円相当）に改めた。

大川家具で知られる福岡県大川市は返礼品の約8割を家具が占めるが元々、返礼割合はすべて3割以下。通知では家具は「資産性が高い」と見直しを求められたが、地場産品PRのため続ける。15年から返礼品に家具を取り入れ、16年度の市への寄付額は15年度からほぼ2倍の約6億円に増えており、家具をやめて税収が落ち込むことへの不安もある。

福岡県久留米市は自転車の返礼品が「資産性が高い」と指摘された。ブリヂストンの創業地をPRするのが目的で人気も高く、せめて電動アシスト自転車以外の一般の自転車は残せないか総務省と折衝することも検討したが見直す方向という。

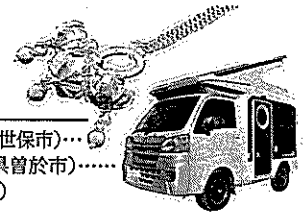
不公平感生む恐れ

山内直人・大阪大大学院教授（公共経済学）の話　返礼品競争を抑えようとする総務省通知の狙いは理解するが、調達金額の合理的算定は難しく、資産性の高いものとして例示されているものの中にはふるさと納税の趣旨に反すると言えないものもある。通知に従わない自治体に必ずしも強制させられるとは限らず不公平感が生じる可能性がある。

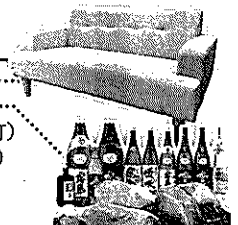
ふるさと納税制度

納税者が出身地など希望の自治体に寄付すると2000円を超えた額が、年収などに応じて限度額まで控除される。控除額の引き上げや高価な返礼品も増えて寄付額は急増し2015年は約1471億円。総務省は金銭に類似するものや資産性が高い返礼品は制度の趣旨に反するとして、見直すよう通知した。

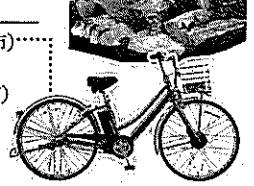
九州・山口の主な「ふるさと納税」返礼品の見直し状況



廃止
- 真珠のネックレス（長崎県佐世保市）…
- キャンピングカー（鹿児島県曽於市）……
- 高額旅行券（山口県下関市）



継続
- 家具（福岡県大川市）……
- 宮崎牛や芋焼酎（宮崎県都城市）……
- ウナギやマンゴー（鹿児島県大崎町）
- 天然トラフグセット（山口県下関市）



存廃検討中
- 電動アシスト自転車（福岡県久留米市）……
- ギター（同）
- 自転車型電動バイク（長崎県平戸市）
- 自分史製作（長崎県佐世保市）

※写真は各自治体や製造会社の提供